

資料4

「課題解決技術支援ツール(試行版)」※に関する 自治体ヒアリング調査結果報告及び改善案

※旧「下水道技術データバンク(仮称)」

支援ツールの概要

- ◆ 技術ニーズ／シーズの情報共有方法として課題チェックシートを過年度に作成
- ◆ 「課題解決技術支援ツール(試行版)」を令和4年6月27日からwebで一般公開



国総研 国土交通省
国土技術政策総合研究所
National Institute for Land and Infrastructure Management

お問い合わせ 操作マニュアル

課題解決技術支援ツール(試行版)

課題解決技術支援ツール(試行版)は、地方公共団体の課題解決を支援する技術情報を提供するためのツールです。

本ツールで使用する数値や技術資料の出典はこちら

フリーワード 自治体 詳細課題 ホットワード

検索

AND検索 OR検索

単語をスペースで区切って検索を行います。
全ての用語を含む検索を行いたい場合はAND検索にチェック
いずれかの用語を含む検索行いたい場合はOR検索にチェックをいれてください。

参照 : <https://sewage-tech.net/>

支援ツールの使用感に関するヒアリング

- ◆ 6自治体を対象にツールの使用感・改善点についてヒアリングを実施
- ◆ 絞り込み要件①: 関東、近畿、九州エリアからそれぞれ2都市ずつ選定
- ◆ 絞り込み要件②: 行政人口1万人以上、20万人未満
- ◆ 絞り込み要件③: 複数の処理場を有し、最も供用年の早い処理場が30年以上経過

都市名	行政人口	ヒアリング日時
A市	80,981	令和4年7月29日
B市	77,122	令和4年7月12日
C市	21,226	令和4年9月6日
D市	96,848	令和5年1月6日
E市	95,443	令和5年1月17日
F市	120,513	令和5年1月13日

- ◆ ヒアリング内容
 - 「フリーワード」機能について
 - 「自治体」機能について
 - 「ホットワード」機能について
 - その他機能について

支援ツールの評価

◆ 「フリーワード」機能について

- 初めて使用する者にとっても分かりやすいと思う(B市)

◆ 「自治体」機能について

- スtockマネジメントの検討を進める中で、ツール内の情報を参考にする機会も増えてくると考えている(A市)
- カネ・ヒト・モノに分かれて表示されて良いと思う(B市)
- 同県内の他市町村と比較ができて参考になった(F市)

◆ 「詳細課題」機能について

- 該当するガイドラインが網羅されており、分かりやすいと思う(B市)

◆ 「ホットワード」機能について

- 他の自治体がどんな課題に興味を持っているか、ランキング形式になっていて参考になった(A市、C市)

◆ 「その他」機能について

- 財政計画を見直す際に本ツールを活用し、他市町村の状況を参考にしたい(A市)

支援ツールの課題・要望

◆ 「フリーワード」機能について

- いくつかのキーワードについて検索結果が表示されなかった「老朽化、耐水化等」(A市、C市)
- あいまい検索等が出来ればよい(E市)

◆ 「自治体」機能について

- 特定の規模の自治体を逆引き検索できるような機能があると良い(A市、B市、C市、D市)
- 比較結果の表示画面は「比較対象①、②、③」ではなく、選択した市町村の名前が表示された方が良い(B市、C市、E市)

◆ 「詳細課題」機能について

- 課題解決方法の先行事例に処理場名が表示されているが、所管自治体の名前も表示されると分かりやすい(B市)
- 該当技術の導入検討や補助事業の活用をどう進めればよいか、事業化するための方法を知りたい(C市)

◆ 「その他」機能について

- 操作マニュアルの他に、具体的な運用例が何例かあると良い(D市)

今後の予定

◆ 支援ツールの改良について

- 「フリーワード」検索機能
フリーワード検索時に解決策やガイドライン類が見つからないケースがあるため、キーワードの見直しを行う。(類義語の追加等)
(例1) 「耐水化」で検索すると結果が表示されないが、「耐水」で検索すると表示される
(例2) 「低炭素」と「省エネ」では検索結果で表示される件数が大きく異なる
- 「詳細課題」機能
新技術の導入実績数情報や実際に導入している自治体名の記載を追加
各下水処理場の所管自治体名やマニュアル発行者の詳細の表示等、ツールの利便性向上
- 「自治体」機能
同規模の他自治体と比較するため、逆引き検索機能を追加
- 「ホットワード」機能
検索結果が伴わないキーワードのランキングへの非表示
- その他機能
具体的な運用事例集の追加